

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	小寺 泰弘
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学リハビリテーション科専門研修プログラム

【研修目標】

世界標準のリハビリテーションを提供できる
チーム医療においてリーダーシップが発揮できる

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

大学病院をはじめ、関連研修施設には都市型の総合病院、回復期病床をもつリハビリテーション専門病院、小児や在宅リハビリテーションなど専門性の高い研修を行うことができる施設が幅広く揃っています。このため研修プログラムの 3 年間で、大学病院や総合病院における急性期リハビリテーションの研修、回復期病床における回復期の研修、専門性のあるリハビリテーション医療の研修、の 3 本柱から成る研修が可能です。さらに維持期（生活期）のリハビリテーション、障害者福祉なども経験することができます。3 年間でどのような経験を積みかかは個々の目標により異なるため、専攻医の希望に合わせてオーダーメイドで検討します。



▲嚙下造影



▲新生児の診察



□ 主な連携施設

安城更生病院	あいちりハビリテーション病院
国立病院機構名古屋医療センター	あさひ病院
国立病院機構東名古屋病院	可知病院
小牧市民病院	上飯田リハビリテーション病院
総合大雄会病院	協立総合病院
日本赤十字社名古屋第一病院	あおぞら在宅クリニック
日本赤十字社名古屋第二病院	愛知県医療療育総合センター中央病院

□ メッセージ

指導医（病院教授 西田 佳弘）

名古屋大学リハビリテーション科専門研修プログラムは、中部地区を中心とする多くの医療機関やリハビリテーション関連施設において世界標準にふさわしいリハビリテーション医療を提供できる人材、そして将来のリハビリテーション医療におけるリーダーシップを発揮できる人材を育てるため、幅広い症例を対象として経験豊富な指導医が教育することを目指しています。基幹研修施設である



名古屋大学医学部附属病院は 1035 病床を持つ特定機能病院で、一般医療機関では実施することが難しい手術や先進医療・高度医療などの高度でより専門的な医療を提供します。その中でリハビリテーション部門は全診療科からの協力を得て 1 日当たりおよそ 250 名以上の患者のリハビリテーション医療に携わっています。基幹病院として多くの紹介症例があり、疾患の内容は多岐にわたります。各科には特徴的な診療分野があり、一般的な疾患から専門性の高い疾患まで、研修中に多くの症例を経験することができます。関連研修施設も充実しており、研修を受けるには最高の環境が整っています。

□ 募集要項

・採用予定人数	3 人
・給与／月額	月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等）を支給
・当直回数／月	希望に合わせて考慮
・当直料／回	20,000 円／回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可
・応募連絡先	担当者 山口 英敏 電話番号 052-744-2686 Eメール hyamaguchi@med.nagoya-u.ac.jp